

(3) 特別企画展示

第6回特別企画展示 「家族の肖像」

○会期 平成29年（2017年）3月22日～平成30年（2018年）3月25日

○会場 滋賀県平和祈念館エントランス

○開催趣旨

戦争に巻き込まれた家族の写真をタペストリーに構成し、エントランスに展示した。

タペストリーには、満洲で八路軍に留用された元航空兵で、現地で晴子さんと結婚し、昭和29年に2人のお子さんと帰国された河内健吾さん。出征した4人の兄のうち、かわいがってくれた長男の宗男さんと次男一重さんを戦争で亡くされた奥島すみ子さん。幼い娘を残して出征した夫益治郎さんに、最後の面会でも娘を連れて行けず、戦地へ送った写真も届かないまま戦死されたことを悔やむ勝見一恵さんなど、過酷な運命を潜り抜けた10家族の肖像を紹介した。



特別企画展示 タペストリー



特別企画展示 解説パネル

(4) 地域交流展示

「戦争体験者証言映像上映」

○会期 平成 29 年（2017 年）4 月 5 日～6 月 30 日

○開催趣旨

昨年度制作した戦争体験者証言映像をより広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映した。同時に証言された 4 名の語る内容を紹介するパネルを展示した。



戦争体験者証言映像上映の様子

「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」

○会期 平成 29 年（2017 年）7 月 5 日～8 月 31 日

○開催趣旨

広島平和記念資料館より借用した、広島、長崎の原爆被害の実相や現在の核兵器の状況などについて、写真や図表を用いてわかりやすく説明したポスター（A1 サイズ 84×59 cm 30 枚）を展示した。



写真ポスター展の様子

「ミニ原爆の図展」

○会期 平成 29 年（2017 年）7 月 24 日～8 月 20 日

○開催趣旨

「原爆の図」の縮小パネル版（小パネル 45×180cm 3 枚）を丸木美術館より借用し展示した。今年度は、原爆の図（全 15 部）の中から、第 1 部「幽霊」、第 2 部「火」、第 15 部「長崎」を展示した。



ミニ原爆の図展のようす

「児童生徒向け体験型学習展示」

○会期 平成 29 年（2017 年）9 月 9 日～12 月 24 日

○開催趣旨

背嚢を背負った時の重さ体験や国民服の試着、瓶搗き精米など体験を通して学ぶ展示を実施した。また、併せて「滋賀の戦跡パネル」も展示した。



体験型学習展示の様子



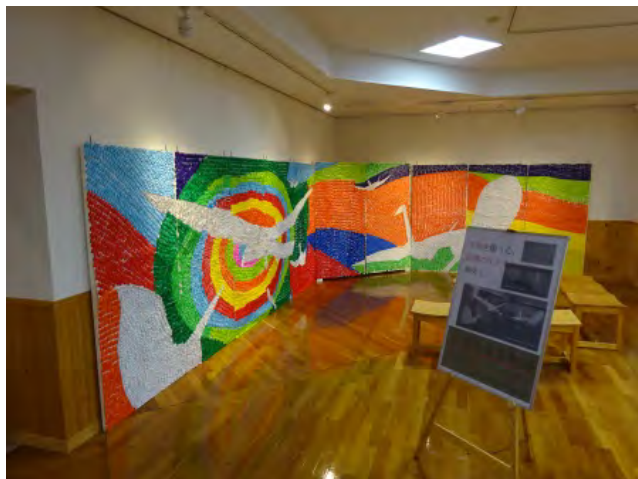
滋賀の戦跡パネル展示の様子

「子ども平和学習成果物展」

○会期 平成 30 年（2018 年）1 月 7 日～3 月 25 日

○開催趣旨

各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、9～12 月に来館した学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージ（31 校 1585 枚）を展示した。



子ども平和学習成果物展の様子



子ども平和学習成果物展の様子

(5) その他の展示

「奉安庫」常設

- 会期 平成 26 年（2014 年）6 月 28 日～
- 展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 研修室横壁面
- 開催趣旨

当館の常設展示資料として、大津市立上田上小学校より寄贈いただいた奉安庫を設置した。戦前の学校では、明治の終わり頃から、紀元節、天長節、新年、明治節の国家祝賀式典には、宮内省から各学校に貸与された天皇と皇后の写真（以下、「御真影」）に最敬礼し、「教育勅語」を奉読する儀式が執り行われていた。この儀式の際に使用する「御真影」と「教育勅語」を納める奉安所として、各学校の講堂や校長室などに奉安庫が設置された。

大津市立上田上小学校の奉安庫は、昭和 8 年（1933 年）10 月 7 日に竣工された講堂に設置されていたが、昭和 58 年（1983 年）、講堂が老朽化のために解体された際に奉安庫の枠のみ取り出し、校舎の階段の踊り場に移設された。平成 25 年（2013 年）には、設置されていた校舎の改修が決まったため、当館へ寄贈いただいたものである。



奉安庫展示

「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール作品展」

○会期 平成 29 年（2017 年）11 月 4 日～平成 30 年（2018 年）1 月 28 日

○展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 ギャラリー

○開催趣旨

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。優秀作品 6 作品を含む応募のあったすべての作品（513 点）を展示した。



優秀作品の展示の様子



応募全作品の展示の様子

2 資料収集保存事業

(1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行っている。体験者の方の高齢化が進む中、一人でも多くの方の体験を記録として残すことが急務となっている。平成29年度の調査件数は88件で、その内29名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、寄贈等資料に重点を置いた聞き取りは36件、資料・戦跡・体験等の調査は23件である。体験談の内容では、軍隊での体験が約半数を占め、最も多く、次いで国民学校児童や中等学校生徒としての体験が約3割見られた。他には挺身隊としての勤務や軍需工場での勤務などの体験が見られた。

～平成29年度戦争体験聞き取り調査事例～

零式艦上戦闘機(ゼロ戦)操縦者としてソロモン周辺で戦闘

南田 覚さん(95才) =守山市=

南田覚さんは、大阪の加工綿業の会社に勤めていましたが、17歳の時、予科練に志願し、第10期生として土浦海軍航空隊へ入隊します。

土浦で基礎訓練を修了し、飛行練習生として大村海軍航空隊へ移ります。ここで、九六式戦闘機で訓練を重ねました。昭和16年(1941年)12月8日、日本海軍の真珠湾攻撃によって日米が開戦しますが、その時「えらいとこ志願したな」というのが本心だったそうです。豊橋の第251海軍航空隊が編成された時にその隊員となります。そして、零戦の搭乗員となります。第251航空隊は、ガダルカナル島などソロモン諸島方面で戦う部隊であったので、サイパン島、トラック島などを經由してニューブリテン島のラバウルに移ります。昭和17年(1942年)11月のことでした。周辺地域は激しく日米が戦いを繰り返していた激戦地でした。ゼロ戦隊の主な任務は、爆撃機や攻撃機を護衛することでした。ガダルカナルの上空で初めて米軍機に遭遇した時は、急上昇して逃げて帰ったそうです。上がってしまい、どう行動してよいのかわからなかったのです。1年ほどの間に何度も出撃し、米軍機のグラマン戦闘機と空中戦をしてきた南田さんは、昭和18年(1943年)の10月にラバウル上空の空中戦で機銃弾を両足と腕に受けて、負傷します。飛行場に着陸した時のことは、ほとんど覚えておらず、意識を無くしていました。その時に、遠いところから母親が現れて、「しっかりせえよ、そのままやったらしんでしまう」と言ったような気がして、何分か後に気が付いたのでした。このけがを治療するために、横須賀の海軍病院に運ばれます。しかし、左足の膝関節と、右足の足関節が回らなくなっていました。20歳の時のことでした。不自由な生活は、その時以来、今も続いています。

(2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦争当時の滋賀県に関連する資料 35,000 点以上を収集し、その整理、保管を行っている。平成 29 年度は、新たに 2,397 点の資料を収集した。

ほとんどの寄贈資料は、戦争体験者本人よりその子、孫世代の方々からのご寄贈が増えてきた。今年度は、収蔵資料の点検整理事業も取り組んだ。寄贈資料の状態を保ち、次世代へ継承していくためにも、資料の整理作業を継続する。

～平成 29 年度受け入れ資料の事例～



落下傘の一部

戦後になって配給されたもの。

縦 231cm、横 90cm

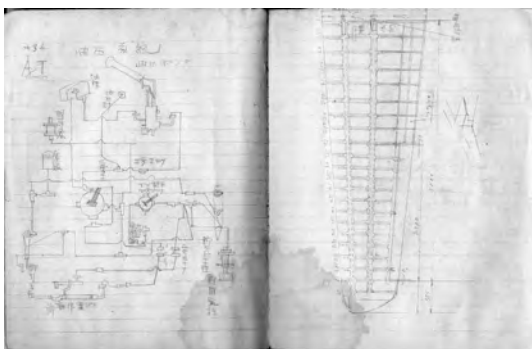
東近江市 山田 恵美子さん 提供



陶製手榴弾と地雷（信楽焼き）

地雷は、粘土による生素地を機械ロクロで作った。

甲賀市 奥田 多紀子さん 提供



作業帳(大阪陸軍航空支廠八日市分廠 宮尾曾一氏)

八日市飛行場の分廠に教官としておられた方の持ち物。戦時中、分廠に県外の方もたくさん来られ、周辺の民家に宿泊しておられた。作業帳は、宿泊させていた民家から出てきた。

東近江市 山田 幸伺さん 提供

(3) 滋賀県戦争遺跡分布調査報告書作成

平成5年度から聴取を開始した戦争体験談では、たとえば空襲被害・軍需工場等への勤労働員・学童疎開・軍事施設といった、体験の場所が特定されている場合があり、周囲の様子は大きく変貌していても、その場所は体験者の生々しい記憶と深く結びついている。そうした場所には、八日市飛行場の掩体のように明示的に残されていることもあれば、機銃掃射で欠けた地蔵像、組織的に設置された防空壕や軍事施設の痕跡、疎開で寮として利用された寺院の本堂といった例のように、体験者の記憶の中でしか戦争に結び付かない場合がほとんどである。しかしながら、体験談に語られた場所を具体的に特定して記録することは、次世代に体験談を伝える際に真実味を持たせる意味で重要である。

以上のことを考慮して、戦争を知らない世代に戦争体験を伝えるために、戦争にかかわる場所とそこに残された痕跡を体験者の記憶とともに記録し、また当館の基本展示スペースにある「床地図」の内容をより充実させるための事業として、戦争遺跡の分布調査の実施が平成26年度に構想された。そして平成28年度に、滋賀県立大学人間文化学部の中井均研究室への委託事業として実施した。

この成果にもとづき、平成29年度に『滋賀県戦争遺跡分布調査報告書』を刊行した。

【内容】

序文・例言

はじめに

第1章 空襲 7ヶ所

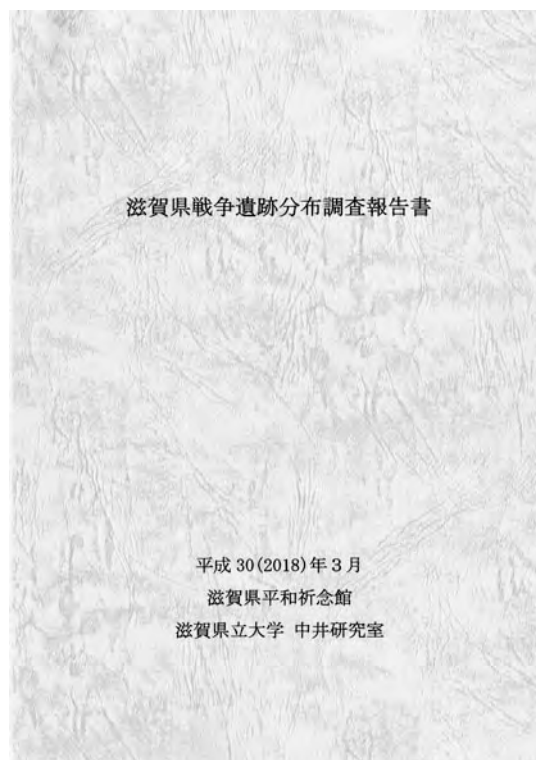
第2章 軍事施設 18ヶ所

第3章 避難壕 5ヶ所

附1 滋賀県戦争遺跡一覧表 115ヶ所

附2 滋賀県戦争遺跡分布図 13葉

合計 98ページ



3 普及啓発事業

(1) 平和学習講座

「梵鐘を守れ！ - 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史 - 」

○開催日時 平成 29 年（2017 年）10 月 22 日（日）13：30～15：00

○受講者数 16 名

○事業概要

滋賀県教育委員会文化財保護課主幹の井上優氏を講師に迎えて、「梵鐘を守れ！ - 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史 - 」と題して講演いただいた。テーマに対して、太平洋戦争のさなか、武器生産などの軍需に必要な金属資源の不足をまかなうために、金属類回収令が公布され、家庭内のあらゆる金属品とともに、寺院の仏具や梵鐘も供出を命じられた中、当時滋賀県庁に在籍していた文化財技師の日名子元雄氏が、かけがえのない文化財を後世に残すため、梵鐘の救出に奔走された様子や地域文化財を守った戦時体制下の知られざる記録を通して、文化財を守ることの真の意義についてスライドを用いて紹介、解説いただいた。



平和学習講座の様子



平和学習講座の様子

「戦争遺跡分布調査報告会」（3回連続講座）

○開催日時

平成 29 年（2017 年）12 月 17 日（日）、平成 30 年（2018 年）1 月 21 日（日）、2 月 18 日（日）各回ともに 13：30～15：00

○講座内容および受講者

第 1 回「大津陸軍墓地が語る兵士のすがた - 日清戦争期を中心にして -」

講師 辻川哲朗氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）受講者 26 名

第 2 回「滋賀県に残る日本陸海軍の施設 - 大津海軍航空隊 -」

講師 神保忠弘氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）受講者 36 名

第 3 回「滋賀県戦争遺跡の調査から」

講師 中井均氏（滋賀県立大学教授）

「米原機関車避難壕の測量調査」

講師 杉山佳奈氏（滋賀県立大学院生）受講者 50 名

○事業概要

平成 28 年度に、滋賀県平和祈念館が主体となり、滋賀県立大学に委託し県内に現存する戦争遺跡を調査した。12 月から 2 月にわたり、この調査に携わった 4 名の方々を講師にお招きし、テーマに応じてスライドなどを用いて調査結果を発表していただいた。



戦争遺跡分布調査報告会の様子



戦争遺跡分布調査報告会の様子

(2) 大人のための歴史教室「映画で考える歴史」

○開催日時

平成 29 年（2017 年）9 月 23 日（土）、10 月 21 日（土）、11 月 18 日（土）

各回ともに 14：00～15：30

○講座内容および受講者

第 1 講「ジョン・フォード『駅馬車』と南北戦争」 受講者 14 名

第 2 講「『マイ・フェア・レディ』とロンドン・アメリカ」 受講者 13 名

第 3 講「チャップリン『独裁者』とファシズム」 受講者 17 名

○事業概要

佛教大学歴史学部の原田敬一教授を講師に迎えて、「映画で考える歴史」と題し、一つだけの歴史にとらわれるより、いくつかのバラエティに富んだものから膨らませることの楽しさを発見することに着目し、3 回連続講座として開講した。各講座では、よく知られた名画から歴史を再発見する試みとして、映画の原作者や監督がどのような時代を生き、それを作品にどのように投影していたかを受講者とともに考えるような講義をしていただいた。



大人のための歴史教室の様子

(3) 戦争体験を聞く会

【平成 27 年度より毎月 1 回実施】（8 月は平和を祈念する日事業、3 月は 6 周年事業にて実施）

○開催日時

平成 29 年（2017 年）4 月 16 日、5 月 14 日、6 月 11 日、7 月 16 日、9 月 10 日、

10 月 15 日、11 月 12 日、12 月 10 日、平成 30 年（2018 年）1 月 14 日、2 月 11

日、各回ともに 13：30～15：00

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

4月16日（日）

小森 章次さん

（大正12年生まれ、東近江市在住）

「八日市飛行場とともに…」

（企画展示関連講演）

参加者 39名

「戦争体験を聞く会」の様子



5月14日（日）

藤川 誠一郎さん

（大正15年生まれ、東近江市在住）

「農業・農村から見る滋賀の銃後」

参加者 29名



6月11日（日）

水波 堯さん

（昭和5年生まれ、彦根市在住）

「内湖干拓の勤労働員を経て予科練へ」

参加者 36名



7月16日（日）

礪田 稔さん

（大正15年生まれ、大津市在住）

「8月9日のソ連軍侵攻からシベリア
抑留へ」（企画展示関連講演）

参加者 62名



「戦争体験を聞く会」の様子

9月10日（日）
樋口 良次さん
（昭和7年生まれ、大阪府吹田市在住）
「近江八幡への疎開と大阪空襲」
参加者 28名



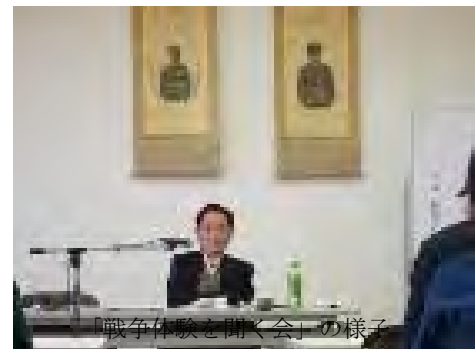
10月15日（日）
田中 修さん
（大正11年生まれ、草津市在住）
「一式陸攻操縦士として要務飛行に携わり… - 硫黄島、国内各地 -」
参加者 58名



11月12日（日）
大野 貞雄さん
（昭和9年生まれ、京都府在住）
「満蒙開拓団の悲話 ～満州国で国民学校5年生時の戦争体験～」
参加者 27名



12月10日（日）
土田 修司さん
（昭和11年生まれ、草津市在住）
「幼き日々を振り返って…
- 父を亡くした少年が見た戦争 -」
参加者 31名



「戦争体験を聞く会」の様子

1月14日（日）
 小松 英郎さん
 （昭和5年生まれ、大津市在住）
 「家族を奪った豊栄丸の沈没 - 朝鮮・木浦
 での日々 -」
 参加者 47名



2月11日（日）
 南田 覚さん
 （大正12年生まれ、守山市在住）
 「零戦パイロットとして臨んだラバウル
 空中戦」
 参加者 142名



【平和を祈念する日事業関連】

- 開催日時 平成29年（2017年）8月13日、8月14日、8月15日
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室・地域交流室
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
8月13日	古川 優さん（昭和3年生まれ、甲賀市在住）	「戦時下の軍国少年 - 予科練・機関学校・兵学校を経て -」	36名
8月14日	島野 喜道さん（大正15年生まれ、彦根市在住）	「中島飛行機武蔵製作所への動員 - 零戦のエンジンを手掛けて -」	47名
8月15日	村田 辰夫さん（昭和3年生まれ、大津市在住）	「東京陸軍少年通信兵学校から中国の戦線へ」	65名



戦争体験を聞く会（古川優さん）



戦争体験を聞く会（島野喜道さん）



戦争体験を聞く会（村田辰夫さん）

【開館 6 周年記念事業関連】

- 開催日時 平成 30 年（2018 年）3 月 11 日（日）13：40～15：10
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
3 月 11 日	早瀬 允人さん（昭和 5 年生まれ、近江八幡市在住）	「命を守った鉄かぶと - 大阪空襲・住友金属での体験談 - 」	42 名



戦争体験を聞く会（早瀬允人さん）

(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「米原市の蒸気機関車避難壕の見学&水谷先生の平和学習講座」

- 開催日時 平成29年(2017年)6月18日(日) 9:30~12:30
- 講演場所 岩脇公民館(米原市岩脇1621)
- 参加者 16名
- 事業概要

滋賀県立長浜北星高等学校の水谷孝信氏と岩脇まちづくり委員会会長・藤本伝一氏を講師に迎えて、「米原市の蒸気機関車避難壕の見学&水谷先生の平和学習講座」を開催した。まずは岩脇公民館で、水谷氏が「米原駅周辺の戦争遺跡や空襲について」というタイトルで平和学習講座を実施し、その後、藤本氏の案内・解説のもと、蒸気機関車避難壕の見学を行った。水谷氏にも避難壕の見学、その後の岩脇山の散策にも同行いただき、参加者の質問にも丁寧にお答えいただいた。



現地見学の様子



現地見学の様子

(5) 平和を祈念する日事業「今こそ語ろう、語り継ごう！戦争のことを…」

- 開催期間 平成29年(2017年)8月13日(日)~15日(火)
- 参加者 904名(開催期間中の来館者)
- 事業概要

8月13日~15日の期間、「平和を祈念する日事業『今こそ語ろう、語り継ごう！戦争のことを…』」として、様々なプログラムを開催した。

その期間、大人向けの映画上映会として黒木和雄戦争レクイエム三部作の映画「TOMORROW 明日」、「美しい夏キリシマ」、「父と暮せば」を上映するとともに、子ども映画上映会としてアニメ映画「ガラスのうさぎ」、「かんからさんしん」、「対馬丸 さようなら沖縄」を並行して上映した。また、今年も3人の戦争体験者の方を迎えて「戦争体験を聞く会」を開催した。特に終戦の日にあたる15日は、正午に黙とうをささげるとともに、館長による平和メッセージを伝えるなど、平和を祈念するセレモニーを実施した。午後からは地元の八日市児童合唱「スマッシュ」



館職員の事業活動報告会の様子



ボランティアによる戦時食の提供の様子



ボランティアによる紙芝居の様子



戦争体験を聞く会（早瀬允人さん）の様子

(7) 館長講座「自分史づくり講座」

- 開催日時 毎月第2土曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ27名
- 事業概要

平成24年（2012年）7月から、自分史づくりをサポートする館長講座「自分史づくり講座」を月1回開催している。講座では、受講者自身が書き進めている自分史の原稿を持参し、館長が文章の表現方法など具体的な助言を行っている。

(8) 映画上映会

【平成27年度より毎月1回実施】

- 開催日時
平成29年（2017年）4月30日、5月28日、6月25日、7月30日、8月27日、9月24日、10月29日、11月26日、12月24日、平成30年（2018年）1月28日、2月25日、3月18日（いずれも13:30～）
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室